

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-92023 (P2020-92023A)

【公開日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報 2020-023

【出願番号】特願 2018-229199 (P2018-229199)

【国際特許分類】

H 0 1 R 4/38 (2006.01)

H 0 2 G 3/16 (2006.01)

H 0 5 K 7/06 (2006.01)

H 0 1 R 4/58 (2006.01)

H 0 1 R 13/42 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/38 C

H 0 2 G 3/16

H 0 5 K 7/06 C

H 0 1 R 4/58 C

H 0 1 R 13/42 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 28 日 (2021.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第 1 の導電部材と、第 2 の導電部材の一方の端部には、接続ねじが貫通する貫通孔が設けられている。第 1 の導電部材の貫通孔と、第 2 の導電部材の貫通孔とを整合させようとしても、第 2 の導電部材の下方に第 1 の導電部材が隠れてしまうので、第 1 の導電部材の貫通孔を直接に視認することが困難である。仮に、第 2 の導電部材に設けられた貫通孔から下方を覗いたとしても、貫通孔から視認できる視野は極めて狭いので、やはり、第 1 の導電部材と第 2 の導電部材とを位置決めするのは困難である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

電線載置部 3 6 の前方の位置には、電線 2 4 の端末に接続された端子 1 5 の板部 2 9 が載置可能な端子載置部 3 7 が設けられている。端子載置部 3 7 は、上下方向に延びると共に、肉抜きが施された円筒形状をなしている。端子載置部 3 7 の左右方向についての幅寸法は、端子 1 5 の板部 2 9 の左右方向についての幅寸法と、同じか、又はやや大きく設定されている。図 6 に示すように、端子載置部 3 7 の中央位置と、ケース位置合わせ部 3 5 とは、左右方向について略一列に並んで配されている。

【手続補正 3】

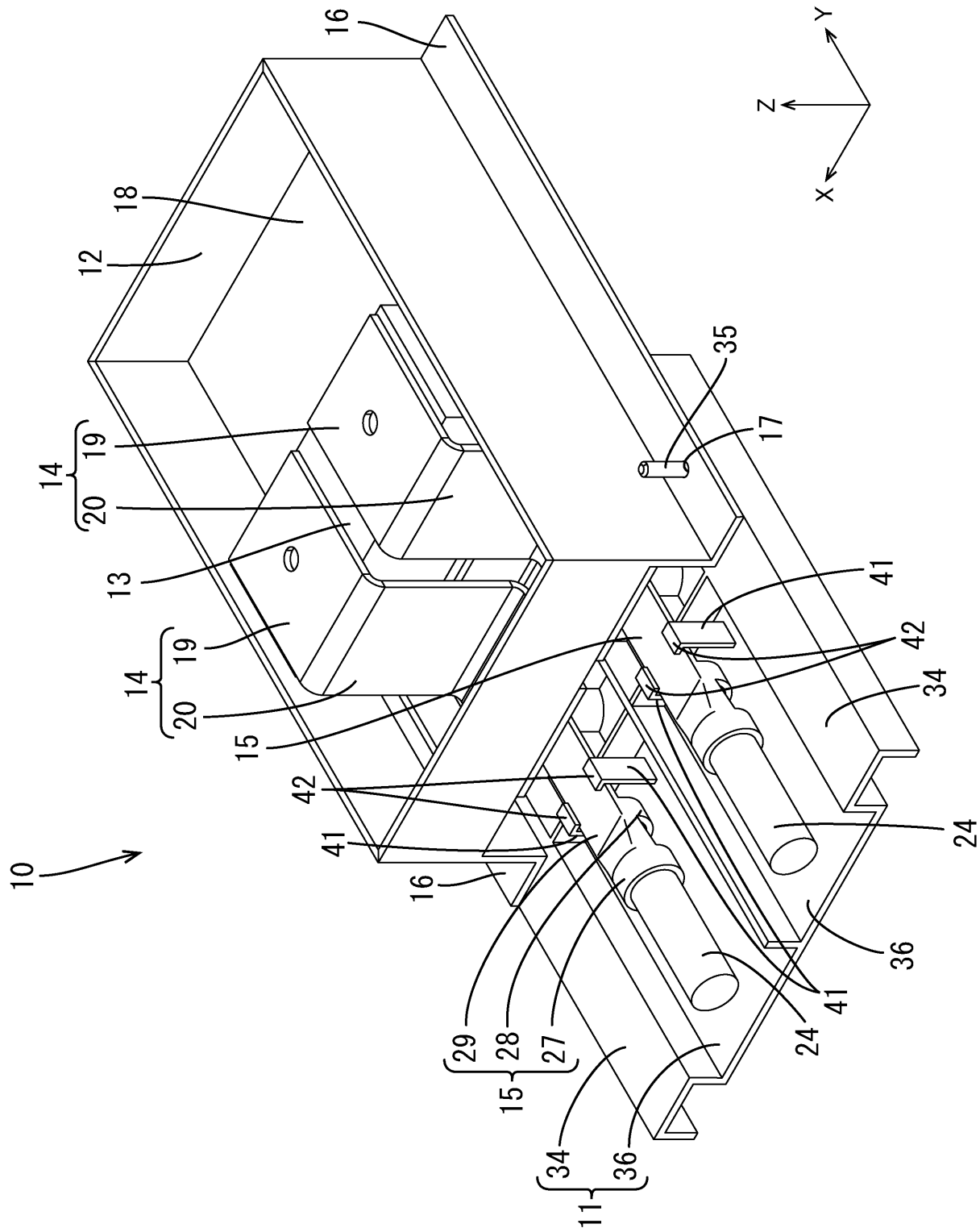
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【図 2】

